

令和4年度 (一社) 熊本市保育園連盟青年部 新執行部紹介

部長



やまばとこども園

吉本 大樹

令和4年度から熊本市保育園連盟青年部部長を務めさせていただきます、熊本市東区やまばとこども園の吉本大樹と申します。

熊本市青年部には23歳で入部し約20年近く在籍していますが、歴代の諸先輩部長に負けなように、青年部長として青年部に貢献できるように尽力いたします。

また、副部長、事務局、各委員長、委員のメンバーと青年部の良き伝統を受け継ぎながら、協力し合い、時代の流れとともに変化が必要な場合はその都度アップグレードし、対応できるように同志と共に学び合える青年部にしていきたいと思えます。

保育業界においても、時代の流れとともに課題も変化しております。例えば、小規模保育所・企業型保育所等が出来た事で待機児童問題は解決した一方で、過疎地や一部都心でも既に起きている少子化による定員割れ問題が挙げられます。

そしてまた、こども家庭庁の新設や物価上昇による給食費等の経費問題や、保育士人手不足や質の向上等、様々な課題を抱えております。

当初は、10月から公定価格に入ると言われていた処遇改善特例【処遇改善(9,000円)】は令和4年10月からの取扱いが従来の処遇改善と同様に「加算」として位置付けられる事となりました。保育業界は今までにないスピードで変化しています。

熊本市青年部でも様々な企画等を立案し、勉強に励みたいと思えます。

副部長



小木こども園

緒方 隼人

今期副部長を務めさせていただきます、小木こども園の緒方と申します。新型コロナウイルス感染症により、青年部活動も今まで通りといったことが難しい状況が続いています。

そのような中、様々なツールなどを通して新たな青年部活動のかたちというの生まれてきていると思えます。

青年部として新しいものにもどんどんチャレンジし吸収してそれらを活かしていきながら、今までの活動とこれからの活動それぞれが相互により良いものとなっていくよう吉本部長をはじめ執行部の先生方また部員の先生方とともに協力し合い、青年部活動が魅力あるものになるよう鋭意努力してまいります。

引き続きコロナ禍での活動となっていきますが、青年部の良さの一つでもあります、部員間の親睦もさらに深めていくことができ、共に成長でき学び合える関係を今以上に築いていけるよう微力ではありますが努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副部長



あゆみ保育園

田中 晋輔

前期に引き続き副部長を拝命することとなりました、あゆみ保育園の田中です。

私が入部した頃お世話になった先輩は、今は親会の中心となって尽力されています。現メンバーの多くも園長となり、それぞれの園を背負う立場となっています。当時を思い返すと随分のんびり過ごしていたなーと思ったりもします。しかし、その時距離を縮めた仲間が今の支えとな

って私自身の助けとなっています。利害を抜きにして共通の課題と向き合える仲間と出会えることは本当に貴重なことです

さて、少子化、人口減少の問題は熊本市でも目をそらせない事案となりました。それぞれがこれから先を見通し、それぞれの課題と向き合わなければなりません。部員同士が活発に意見交換や交流を行い、そこで得た知識や情報を自園に持ち帰り還元する。吉本部長の下、そうしたサイクルが循環するように努め、そこに一人でも多くの仲間が加わるようにも努めていきたいと思えます。

2年間よろしく申し上げます。

事務局長



田迎こども園

松永 和孝

今期、熊本市保育園連盟青年部事務局を務めさせていただきます、田迎こども園の松永和孝です。コロナによる行動制限もなくなり、今年こそは皆さんと直にお会いして交流できることを楽しみにしています。

2年間お休みしていた県外への出張も少しずつ増えてきました。体調を崩さないように体を鍛えて強靱なスタミナをつけて活動していきたいと思います。2年間どうぞよろしくお願いいたします。

企画研修委員長



たちばな保育園

中村 尚平

この度、熊本市保育園連盟・青年部の企画研修委員長になりました、たちばな保育園の中村尚平です。

興味・関心がわくような研修が企画できればと思っております。

なかなか思うようにいかないご時世ですので臨機応変に対応できるように準備するのが重要だと思います。

試行錯誤しながら一生懸命やりますのでよろしくお願い致します。

調査広報委員長



つばめこども園

本田 小百合

今期、調査広報委員長を務めさせていただきます、つばめこども園の本田小百合と申します。

未だコロナ禍が続いていますがここ最近は以前よりも出来る事が増え、“日常”を取り戻しつつあるのではないかと思っております。

そのような中、日々の運営や保育等に関する情報をお届けし、ささやかですが先生方のお役に立てるよう努めてまいります。青年部の先生方ともたくさん交流を深めていきたいです。よろしくお願い致します。

(一社) 熊本県保育協会青年部 部長祝辞



コスモス保育園

藤田 香瑞

(一社) 熊本市保育園連盟青年部総会の開催並びに新執行部の就任、誠にありがとうございます。新部長の吉本大樹先生指揮のもと、富永一吉前部長から受け取ったバトンをしっかり繋ぐだけでなく、更に充実した青年部活動が展開される事を楽しみにしております。

私自身吉本先生とは、同年代であることもあり、青年部活動の枠を超えて親しくさせていただき、自園の園舎建て替えの際には、先生の園を訪問し参考にさせてもらうなど、お世話になっております。そんな吉本先生と一緒に保育を語り、青年部を盛り上げて行ける事を嬉しく思います。

ここ数年はCovid-19の影響が大きく、皆で集まり顔を合わせる事が難しい日々が続きました。しかし一方で、ZOOM等新しいコミュニケーションの手段が生まれました。

いま、ウィズコロナの社会にあって、これまでの時代を融合した新しい繋がりや活動が必要な時期となりました。新時代にチャレンジする組織として、吉本先生の内では緻密に、外では泰然自若とし、余裕をもってふるまい、他人の意見を尊重する姿は、部員の意欲高揚に不可欠なものだと思います。

縣市それぞれの青年部が活躍するだけでなく、互いに手を取り情報交換を含めた交流を深めながらさらに充実した組織運営、仲間づくりが出来ればと思います。

これからもどうぞよろしくお願い致します。 Let's all move on to the next era.

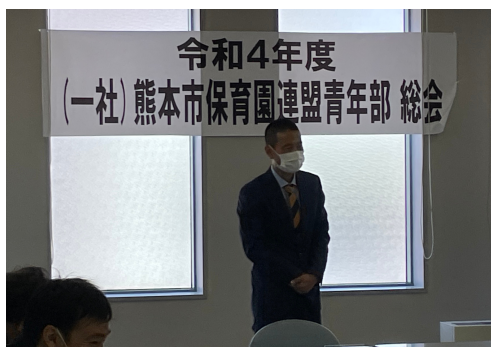
熊本市保育園連盟青年部 通常総会

令和4年5月2日(月)午後2時より熊本県総合福祉センター第3会議室にて、熊本市青年部通常総会が開催された。

始めに吉本副部長より開会の挨拶があり、次に富永部長より「令和3年度もコロナウイルスの感染状況に合わせながらの活動となりオンラインでの開催が多かった。思うような活動ができない状況もあるがこれからも青年部活動を通じて先生方との絆を深めていきたい」とこれからの活動に対する抱負が述べられた。

ご来賓として(一社)熊本市保育園連盟 鬼塚専務理事にご臨席いただいた。「青年部は活動や集まりを通じて共に学び助け合いながら絆を深めていける。今後の青年部らしい活動に期待している」と激励の言葉をいただいた。

第1号議案 令和3年度事業報告から第5議案まで審議され、すべての議案について全会一致により承認された。最後に田中副部長の挨拶により閉会となった。



熊本県市合同青年部実践研修Ⅰ

令和4年6月22日(水) 熊本市総合福祉センター5階研修ホールにて、令和4年度熊本県市合同青年部実践研修Ⅰ「防災計画対策研修」が行われた。今回はハイブリッド式としてオンラインでも研修を行った。

講師にNPO法人ソナエトコ理事長 水野直樹先生をお招きし、防災への備えや災害時に運営側が気を付けること等を学んだ。防災の基本は「誰の命を守りたいですか?」ということ。大切な人の命を守るためにどうすればいいか深く考える研修となった。

研修後半は、人吉市せん月保育園 原茂行先生より「令和2年球磨川豪雨災害」についての体験談や災害時の対応等のお話を聞かせていただいた。更に災害対策のグループワークを行い、対面式ならではのとても実りある研修となった。“災害の備えは当たり前のかくにん”という水野先生のお言葉を念頭に置いて、大切な人たちの命を守る取り組みを行っていききたい。



今年9月に全国青年保育者会議が熊本で開催

令和5年9月13・14・15日の3日間、第44回全国青年保育者会議熊本県大会が開催される。全国から300名以上の青年保育者が集結し、3日間かけて保育の未来について学び合い、交流していく。

熊本での開催は平成12年の第22回大会以来、23年ぶりとなる。令和2年度はコロナのために中止、令和3年度はオンライン開催となり、なかなか思うように開催することができなかったが、令和4年度9月には横浜大会が3年ぶりに対面式で開催され、400名以上が集まる大きな大会となった。

これを受け、熊本大会も活気があり、実りの多い大会にしたいと、実行委員が準備に励んでいる。

今年の9月13～15日は、ぜひスケジュールをあけて、熊本で開催される全国大会を一緒に盛り上げていただきたい。



令和2・3年度青年部卒業式の開催

令和5年1月26日、(一社)熊本県保育協会青年部・(一社)熊本市保育園連盟青年部合同で、「令和2・3年度青年部卒業式～もう…いいよね。～」をKKRホテル熊本にて開催。コロナ禍により延期されていた令和2年度卒業式も同時に開催。

熊本県保育協会青年部から令和2年度卒業は島村誠先生、三村大和先生、元村健正先生、蟻田哲聖先生、三宅由利子先生、加登住亮先生、嵯峨淳心先生、中村禎成先生、古川眞先生、令和3年度卒業は平山猛先生、梅野雄二先生、永田彰先生、横山理恵先生、緒方玲奈先生、備海伸隆先生の計15名の先生方が、熊本市保育園連盟青年部から令和2年度卒業は鬼塚和典先生、豊田亮先生、堂森宏一先生、宇治和貴先生、令和3年度卒業は竹下賢一先生、津留貴裕先生の計6名の先生方が卒業となった。

春からのアフターコロナを見据えたサブタイトルのもと、県青年部の藤田部長、市青年部の吉本部長の挨拶に始まり、熊本県保育協会の桑原副理事長より祝辞を賜り、同森上事務局長の乾杯のご発声にて開宴。



コロナ禍以降、対面で集う機会を失っていた部員にとって、本来あるべき青年部の和気藹々とした姿と笑顔が溢れた今回の卒業式。式の中では、令和2年度卒業生へのビデオ上映、令和3年度卒業生への卒業証書授与が行われた。

卒業となられた先生方からは、青年部での思い出と共に、青年部の魅力と後輩達への思いが語られ、盛会の内に閉式となった。私達青年保育者にとって、諸先輩方の想いを紡ぎ歴史を繋げる事、青年部のあるべき姿と魅力を改めて再認識する会となった。

ご卒業となられた先生方の、益々のご活躍を祈念致しますと共に、これからもご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。この度は誠にありがとうございました。



青年部のここがステキ！

青年部会員募集！

最大の魅力は「人脈」

- 同じ目標に向かう「仲間」がいます。
- 様々な保育の「最新情報」を「知る」ことができます。
- ユーモアたっぷりの先生方がいて「楽しい！！」
- 青年部には明日の保育の「魅力」が溢れています。

当青年部は、一般社団法人熊本県保育協会、一般社団法人熊本市保育園連盟の保育事業における青年保育者の貢献を高めると共に、児童福祉の増進に寄与することを目的とし、若手青年保育者が集い、真剣に学び、楽しく語り合い、明日の保育を作り上げています。